

(別紙1)

管理運営状況 評価シート【令和6年度】

(評価日 令和7年6月26日)

1 施設の概要

施設名	岩手県立県北青少年の家
所在地 電話・FAX HP・電子メール	岩手県二戸市仁左平字放森 61-35 電話 0195-23-9511 FAX 0195-23-3874 ホームページ www.echna.ne.jp/~kenritu3/ 電子メール kenritukenpoku@echna.ne.jp
設置根拠	青少年の家条例(昭和56年岩手県条例第16号)
設置目的	(設置:昭和58年10月14日) 次代の担い手である青少年に、恵まれた自然環境のなかで、規律ある共同宿泊生活を体験させ、友情、共同、奉仕等の相互扶助の精神を養い、地域社会の発展に寄与しうる自主的で創造性豊かな青少年の育成を図る。
施設概要	【敷地面積】132,344.97㎡ 【建物面積】8,399.12㎡ 【主な施設】○管理・研修棟 ○プレイホール ○宿泊棟 ○屋内スケート場 ○付帯施設(プラネタリウム他) ○研修機材等 ○駐車場
施設所管課	岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課 (電話 019-629-6171、メールアドレス DB0005@pref.iwate.jp)

2 指定管理者

指定管理者名	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)
連絡先	盛岡市みたけ1丁目10番1号 電話 019-641-1127

3 指定管理者が行う業務等

業務内容(主なもの)	1 施設等の供用に関すること。 2 施設等の維持管理に関すること。 3 施設の利用促進及び指導に関すること。 4 スケート場の一般利用における使用許可、料金の徴収に関すること。							
職員配置、管理体制	12名 (令和6年4月1日現在) (内訳) 正職員 1名 地域職員月額賃金 4名 地域職員時間月額賃金 7名	組織図 事業団本部- 総括責任者-総括責任者補助 (正職員1) (地域月1)	事務(地域月1)	技能(地域月2 地域時1)	警備(地域時3)	清掃(地域時2)	労務(地域時1)	
利用料金	※技能には、暖房運転・植栽管理含む							
	附属施設	利用料金						
		個人使用			貸切使用			
	区分	小学校児童及び中学校生徒	高等学校生徒及び学生	一般	区分	料金を徴収しない場合	料金を徴収する場合	
スケート場	普通利用料金(1回)	190	500	680	土曜日・休日の利用料金(1時間)	13,120	26,250	
	回数利用料金(6回)	950	2,520	3,420				
	定期利用料金	競技関係者	3,800	10,080	13,680	その他の日の利用料金(1時間)	9,840	19,680
		その他の者	7,600	20,160	27,360			
	附属の設備の利用料金	靴(1回)	160	440	570	附属の設備の利用料金	放送設備(1時間)	710
ロッカー(1回)				50	照明設備			

開館時間	勤務時間 8時30分～17時15分 ※利用団体がある場合は、24時間 スケート場（11月1日～3月31日） 火～金 13:00～22:00 土・日・祝 10:00～22:00	休館日	毎週月曜日（ただし、臨時開所すること がある。）、12月28日～1月4日、その他 所長が定める臨時の休所日
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------	-----	-------------------------------------------------------------

4 施設の利用状況

（単位：人）

(利用者数、稼働率等)	前期間平均	指定管理期間						備考
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	期間平均	
第1四半期	4,175	2,971	4,945	3,147	2,246		3,327	
第2四半期	5,808	1,353	3,328	4,448	2,661		2,948	
第3四半期	6,760	6,736	6,133	6,264	7,283		6,604	
第4四半期	7,198	2,634	5,344	11,449	10,073		7,375	
年間計（実績）	23,941	13,694	19,750	25,308	22,263		20,254	
年間計（計画）		29,300	29,359	29,418	29,477	29,536		
スケート場実績	17,251	12,963	14,218	16,426	17,393		15,250	
スケート場計画		19,500	19,539	19,578	19,617	19,656		
合計年間実績	41,192	26,657	33,968	41,734	39,656		35,504	
合計年間計画		48,800	48,898	48,996	49,094	49,192		

5 収支の状況

（単位：千円）

区分	前期間平均	指定管理期間						備考	
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	期間平均		
収入	利用料金収入	2,873	2,797	3,066	3,546	4,765		3,543	
	指定管理料	62,243	69,101	78,947	77,510	77,215		75,693	
	自主事業収入	206	72	301	812	753		485	
	小計	65,322	71,970	82,314	81,868	82,733		79,721	
支出	人件費	20,015	22,942	23,768	23,988	26,919		24,404	
	維持管理費	44,737	47,655	57,553	56,620	56,403		54,558	
	事業費	0	0	0				0	
	自主事業費	241	91	332	801	733		489	
	小計	64,993	70,688	81,653	81,409	84,055		79,451	
収支差額	329	1,282	661	459	△1,322		270		

6 利用者の意見等への対応状況

(1) 利用者意見（満足度等）の把握方法

把握方法	全利用団体へのアンケート調査による	実施主体	県北青少年の家
------	-------------------	------	---------

(2) 利用者からの苦情・要望

受付件数	苦情 6件、要望 9件、その他 件	
主な苦情、要望等	対応状況	
今の時代に研修室にエアコンがないのはかなり厳しい。利用者としては生徒のためにも早くエアコンを取付してほしい。	プラネタリウム室、救護室、食堂には冷房設備がありますが、研修室や宿泊室にはまだ設置されておりません。真夏日の中で研修活動や熱帯夜での睡眠不足、近隣の養鶏場や養豚場の臭いなどもあり扇風機だけでは充実した宿泊研修等が難しい状況であると存じております。引き続き、県へ要望してまいります。	
炊飯器が増える等して、ご飯を盛れる場所が増えるとよい。	保温ジャー2台を購入し、ご飯を盛れる場所を増やすよう対応しました。	
今日は、割れ残りの風船、シャトルの破損物がありました。(プレイホール)	プレイホール等を使用した際、従前から使用者に使用後の片づけをお願いしておりますが、片付けについての声かけ等を徹底してまいります。また、当所としても、廃棄物を見つけた際には速やかに撤去してまいります。	
虫が苦手な子もあり、駆除の手間がかかった。	当所においては、虫の駆除等について注意のうえ、清掃を実施しておりますが、完全には虫を駆除しきれていない状況です。引き続き、虫の駆除等に努めてまいります。	
<p>その他利用者からの積極的な評価等</p> <p>1 職員の対応関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 懇切丁寧に対応していただき感謝申し上げます。 たくさん声を掛けていただき、大変助かりました。 引率者が不慣れでも、子どもたちと共に学び体験できるよう進めていただいた。 普段は学校で注意されることが多い5年生ですが、活動の一つ一つで大いにほめていただき、自信を持って取り組むことができた。 <p>2 施設設備の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> プレイホール、宿泊室とも清潔でよく整備されております。 道具や説明等も用意していただいたことで、スムーズに進めることができました。 不自由なく使えました。 風通しもよく過ごしやすそうだった。 <p>3 食事の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 物価高の折、地域の素材も取り入れて美味しく頂きました。 とてもおいしかったです。子どもたちも喜んでいました。 生徒達の好むハンバーグ、からあげ等で、とても喜んでおりました。 完食する子どもたちもたくさんいて十分な内容だった。 <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 至るところで、気配りを感じました。 バスを利用させていただき、助かった。活動時間が遅くなってしまったが、待っていただいた。ありがとうございました。 		

7 業務点検・評価 (※)

(1) 業務の履行状況

項目	事業計画、県が求める水準	実績 (指定管理者の自己評価)	評価指標
管理業務等	1) 公の施設としての公共性を有することを十分に理解し、その趣旨を尊重した管理業務等の実施	<ul style="list-style-type: none"> 施設の設置目的に従って、安全な管理に万全を期し、充実した事業を実施し高い満足度を指すとともに、透明な予算執行に努めた。 「生きる力」を育み、自然環境の中での多様な体験を通して主体的で創造豊かな青少年の育成に取り組んだ。 積極的に地域住民・学校・団体等との関わりを持ち、地域に開かれた親しまれる施設運営を目指す等、生涯学習の場の提供に努めた。 管理業務の遂行に当たって職員一人一人が地域社会の一員として県民の信頼を損なうことがないよう信用失墜行為の禁止をはじめとするコンプライアンスを徹底した。 新型コロナウイルス感染症対策を遅滞なく実施し、公の施設として、利用者の安心・安全の確保に努めた。 	B
	2) 県民の平等な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> 気軽にそして平等に利用できるよう公平な利用の確保に努め、誰でも気軽に参加できる自主事業を積極的に展開するなど県民どなたでも利用できる機会やプログラムを提供するよう努めた。 	
	3) 設置目的を効率的かつ効果的に達成	<ul style="list-style-type: none"> 教育部門である研修班と施設管理部門である総務班が密接に連携し、利用者第一の姿勢で青少年の健全育成、生涯学習の振興等設置目的を達成するよう努めた。 	
施設の利用状況	1) 目標値の達成 管理運営計画書に掲げる年間利用者数 49,094 人 (施設 29,477 人、スケート場 19,617 人)	年間利用者数 (対目標値) 施設 22,263 人 (7,214 人減) スケート場 17,393 人 (2,224 人減) 計 39,656 人 (9,438 人減)	B
	2) 上記目標値に向けた取組みと、増減内容の把握	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策を年度当初から実施しながら利用促進に努めた。 施設 (研修) 利用者数については、自然環境や施設の特徴 (プラネタリウム、スケート場) を生かした研修プログラムの充実させることに加え、これまでの学校教育、社会福祉関係団体への対応に加え特別支援学校や適応指導教室等との連携も視野にプログラムの提供を行ったが、給水設備の不具合により利用を一時制限したことが影響し、結果として計画数値には届かず、また、前年度に対し 3,045 人 (△12.0%) の減となった。また、スケート場は、他県等の団体の貸切利用が増えたこと等により前年度に対し 967 人 (5.9%) の増加となった。 時代の要請 (ウィズコロナ、特別支援教育の充実、不登校対策等) に対応した研修活動支援と事業プログラムを提供する体制を整えた。 3月に卒業や進級を控えた学生や児童・生徒を対象に自主活動を自分で考えて宿泊研修できる「県北お泊り会」を実施した。予想を上まわる参加者があった。 入口国道沿い看板やホームページに利用予定表を掲載するなどして利用案内周知に努めた。 	

	3) 施設利用促進に係る広報等の実施	<ul style="list-style-type: none"> 毎月地元FMのラジオ番組に出演し、事業開催の案内や施設利用の広報を行った。 ホームページ、フェイスブックの更新頻度を高め最新情報を提供できるように努めた。 主催事業のチラシを作成し、関係小中学校、市町村教委、報道機関等へ配付した。また、チラシを持参し、近隣約70カ所の事業所（公的施設、民間施設、商店など）を訪問し、掲示及び配布依頼の他、声掛けのお願いを行った。 各種団体の会議出席による広報活動、利用案内をおこなった。 「ステラ便」と称し、メールアドレス登録者に、直接施設の事業案内等情報をお知らせする情報発信システムを開始し、100名を超える登録を頂いたことから今後も継続する。 	
会計業務の状況	適正な会計業務（収入・支出・契約等）の執行	<ul style="list-style-type: none"> 各種法令・例規等を常に参考にしながら、契約業務を進めるとともに契約担当者以外の者が業務の完了確認を行うなど、適正な執行に努めた。 入札業務も多いことから、不明な点等については本部とも協議をして業務を進めた。 	B
施設の維持管理状況	1) 施設設備の維持管理等業務の適切な実施	<ul style="list-style-type: none"> 専門業者による施設設備の点検を行うとともに、毎月1回点検担当職員による施設安全点検を行い、さらに毎日2回担当職員による巡回点検を実施しながら適切な維持管理等業務に努めた。 	B
	2) 公有財産の適切な管理	<ul style="list-style-type: none"> 体育備品に係る体育施設管理士による点検について、年1回実施しており、その点検結果も含め全ての点検結果を全職員で情報共有し、必要に応じて修繕するなど、公有財産の適切な管理に努めた。 緊急に破損や故障が生じた際は、県や事業団本部に報告するとともに現状復旧に向けて適切に対応した。 	
	3) 備品について備品台帳との整合性を図る	<ul style="list-style-type: none"> 現有備品と備品台帳との整合性を図るため、点検等を定期的実施しながら整合性の確保に努めており、その結果を受けて、処分及び物品の所管換え手続きを行った。 備品一覧表に沿った写真付きの資料を整理して備品管理を行っている。 	
記録等の整理・保管	各種帳票書類の適正な整理保管	<ul style="list-style-type: none"> ファイル管理簿により書類・帳票類は、適正に管理（整理・保管・廃棄）した。 	B
自主事業等の取り組み	施設の設置目的に沿った、利用促進に繋がる方策に基づく事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 「県北お泊り会」は、7月末、クリスマス、ひなまつりの時期に3回実施し、各時期にあったプログラムを提供することにより好評を得た。また、家族、友達同士で交流する機会を提供することができた。 「スケート場利用促進事業」は中学生以下の子どもたちへお菓子の無料配布やスケート場利用料の一部還元を行うものであるが、利用者に好評であった。 令和6年度新規の自主事業「冬休みしゅくだいバス」は、自主学习、フリータイム（お楽しみのしみ）、昼食タイム、各小学校へのバス送迎を内容とするものであったが、小学生が集中して勉強に取り組む居場所を提供できた、勉強だけでなく他学校の児童と触れ合うことで、共同性を育むことができた等の成果が見られ、好評であった。 「ステラパル冬まつり」は施設紹介、体験活動、地域交流を行うものであるが、1,400人を超える来場者があり、キッチンカーのメニュー完売、創作コーナーの材料完売と大いに盛り上がった。地域おこし協力隊の協力も得ながら運営することができ、双方のPRにつながった。 	B

<p>(施設所管課評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果のあった点 ・改善を要する点 	<p>○成果のあった点</p> <p>自主事業において、自然環境や施設の特長（プラネタリウム・スケート場）を生かしたプログラムの充実に加え、特別支援教育の充実や不登校対策等に対応した事業プログラムを提供する体制整備により、施設の利用促進を図った。給水設備の不具合による利用制限による影響もあったが、スケート場の他県等の団体貸切利用の増加等により目標値8割程度の利用実績となった。（R6:39,656人、R5年度比：9,438人減、目標対比：80.8%）</p> <p>○改善を要する点</p> <p>利用者数については、各種取組みの成果により回復傾向にあるものの、少子化・人口減少等の影響もあり目標値の80.8%にとどまっており、自主事業や出前講座による利用者増を、施設の実利用促進につなげられるよう、引き続き教育部門（研修業務）と連携し取り組んでいただきたい。</p>	<p>B</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------

(2) 運営体制等

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
職員の配置体制	各業務に適した職員及び必要な有資格者の適正な配置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理計画書のとおり常勤の総括責任者など各業務に適した職員を配置した。 ・ 各業務の経験者、有資格者を地元から採用し配置した。 	B
苦情、要望対応体制	利用に関する各種問い合わせや要望及びトラブル等の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業団クレーム対応要綱により苦情に対応する体制をとっている。 ・ トラブル等はなかった。 	B
危機管理体制（事故、緊急時の対応）	災害時・緊急時の対応や、防犯・防災対策として、マニュアルの作成や訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業団危機管理マニュアル要綱及び県北青少年の家危機管理マニュアルに基づき取り組んだ。 ・ 総合防災訓練を春と秋の2回実施した。 1回目 5月21日（自衛消防訓練） 2回目 12月10日（震度6弱の地震が発生し、火災発生したとの想定に基づき、避難誘導訓練を実施。） ・ スケート場利用者の安全確保を重点に避難誘導訓練を行う。全職員参加型ではなく、実際の勤務体制を反映した避難誘導訓練を実施。 	B
コンプライアンスの取組み、個人情報取扱い	基本協定に基づく秘密の保持、個人情報保護及び法令遵守の確保 個人情報に関する書類の適切な保管管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業団職員コンプライアンスマニュアル及び岩手県教職員コンプライアンスマニュアルに基づいて研修や取組を実施した。 ・ 毎月定例の職員会議において、毎月1名の職員が順番にコンプライアンスに係る話を行った。 ・ 個人情報を収集する場合は、案内文書等に使用目的を限定する旨の記載をしている。 ・ 個人情報に関する書類は金庫及びキャビネット保管とするなど厳重に管理した。 ・ 職員全員から個人情報保護に係る誓約書を徴し、重要性の意識の徹底を図っている。 	B
県、関係機関等との連携体制	基本協定に基づく関係機関等との協力連携及び良好な関係の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業団本部と連絡等を密にし、県及び関係機関との連携に努め、良好な関係を保持した。 	B

(施設所管課評価) ・成果のあった ・改善を要する	○成果のあった点 概ね適正に運営されていると認められる。 ○改善を要する点 特になし。	B
---------------------------------	------------------------------------------------------	---

(3) サービスの質

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
サービス向上の取組み	サービス向上のための研修等の実施	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の職員会議後、コンプライアンスに係る職員発表等を実施するとともに、事業団主催の研修等に参加し、資質の向上に努めた。 	B
利用者サービス	利用者サービス向上に向けた方策に基づく、適切な利用者サービスの実施 1) 利用者の要望に応じた施設開所 2) 利用者の意見を反映させた青少年育成事業の実施 3) 青少年育成の場として適正な施設環境及び設備機能の維持（衛生環境保持、安全点検、修繕等） 4) 障がい者等特別な配慮が必要な利用者に対する柔軟な対応、施設設備の整備	<ul style="list-style-type: none"> 年間 32 日の臨時開所を実施し、利用者の要望に応えた。 スケート場は、11 月 1 日から開場を始め、12 月 31 日、1 月 1 日を除き、毎日夜 10 時まで開場した。 大会開催前にはスケート場を早朝に開場するなどサービス向上に努めた。 スケート場については、一般利用のほか、スポーツ団体練習試合等向けに貸切利用を行い、サービス向上に努めた。 利用団体と詳細な事前打合せを行い、要望や意見を伺い、それらの要望等の一つひとつに答えるよう努めた。 清掃員が年末年始を除き毎日勤務し、衛生面に十分配慮した環境保持に努めた。 害虫防除を委託業務として実施し、適正な施設環境の保持に努めるとともに、職員がカメムシ等の不快害虫を日々施設点検をしながら駆除するなど衛生環境保持に努めた。 安全点検を強化する計画をたて、既存のチェック方法に加えて、二重に安全点検を行う体制を維持して点検を実施した。 誘導灯の修理改修など、優先順位を定めて修繕を実施し、適正な施設・設備環境等の保持に努めた。 特別支援学校等の研修や利用団体に障がいのある方がいる場合など、事前打合せを従前どおり十分に行い、事故なく利用いただいた。 「施設要覧」、「利用のてびき」のほか、「季刊紙」を発行し、関係機関等に配付した他、ホームページやフェイスブックを活用、情報発信システム構築して施設の利用者に迅速に届くように努めた。 	B
利用者アンケート等	1) 利用者アンケートや意見箱の設置による利用者ニーズの把握 2) アンケート結果に基づく業務改善	<ul style="list-style-type: none"> 利用団体から「研修団体票」、宿泊者から「感想・意見カード」を提出してもらい、以後の運営に反映させ、利用者の理解を得られるように努めた。 事業団管理施設共通アンケートを実施。その結果を施設運営に反映するとともに、内容をホームページで公表した。 自主事業参加者のアンケート実施や食堂及びスケート場に意見箱を設置するなどし、利用者の要望、意向、評価等について、朝会、職員会議、給食関係者会議等で検討し、運営に活かした。 毎年実施している「利用者アンケートに係る自己評価」については、ホームページに掲載し、広く公表した。 	B

(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	○成果のあった点 休所日の臨時開所（32日）や、スケート場の早朝開場や貸切利用など、利用者のニーズに合わせた運営を行った。 利用者アンケートや要望・意見結果を職員で共有し、施設運営に活かしている。 ○改善を要する点 特になし。	B
-----------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

(4) サービス提供の安定性、継続性

項目	事業計画、県が求める水準	実績（指定管理者の自己評価）	評価指標
事業収支	管理運営計画における収支の積算に対する適正な収支実績	<ul style="list-style-type: none"> 会計諸帳票は、公益法人会計基準に定められたとおり作成しており、運営計画との整合性が図られている。 予算の執行に当たっては、利用者に不便をかけること、施設運営に支障がないこと等を前提に、効率的な執行に努め、適切に処理した。 	B
指定管理者の経営状況	経営基盤の安定及び計画に沿った管理能力	<ul style="list-style-type: none"> 公益法人としての活動について、毎年、公益認定委員会の評価を受けている。 当事業団は、昭和60年の設立以来、借入金及び貸付金等はない。 業務を適正に成し得るだけの有資格者、経験者を有しているほか、職員の資質向上にも努めており、十分な管理能力を保持していると考えられる。 経費縮減等の努力を継続して行っている。 	B
(施設所管課評価) ・成果のあった点 ・改善を要する点	○成果のあった点 概ね適正に運営されていると認められる。 ○改善を要する点 特になし。	B	

※（注1） 県記載欄：「事業計画・県が求める水準」、「評価指標」「施設所管課評価」

指定管理者記載欄：「実績（自己評価）」

（注2） 評価指標

- A：協定書、提案書等の内容について高レベルで実施され、また、計画を上回る実績（効果）があり、優れた管理がなされている。
- B：概ね協定書、提案書等の内容どおり実施され、計画どおりの実績（効果）があり、適切な管理が行われている。
- C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み、または改善される見込みである。
- D：協定書等の内容に対し、不適切な事項が認められ、改善を要する。

8 指定開始年度から評価年度までの総合評価

(1) 指定管理者の自己評価

<p>① 成果があった取組み、積極的に取り組んだ事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページに加え、フェイスブックの活用や地元ラジオ局への毎月の生出演、地元ケーブルテレビでの事業広報、二戸管内の主要店舗に事業案内のポスター掲示、県内の学校へのチラシ配付等を積極的に行い、利用の周知を図った。 特にも「ステラ便」と称し開始した、メールアドレス登録者に、直接施設の事業案内等情報をお知らせする情報発信システムを開発し、100名を超える登録を頂いており、今後も登録者の増加に努めるとともに、常に施設の最新情報が利用者へ届くように取り組んでいきたい。 新型コロナウイルス感染防止対策として、消毒液の設置、体温測定、手洗いの徹底等の張り紙掲示を継続して行うとともに、基本的な当所の対応方針やスケート場マニュアル活用するなどして、利用者が安全・安心に研修等できるよう努めた。また、主催事業は一部規模縮小しながらも満足度の高い事業を行うことができた。今後も感染対策を意識しながら、「ウィズコロナ」として社会活動の正常化に向けて当施設でも積極的に、主催事業等を行っていきたくと考えている。

- ・ 年間 32 日の休所日の臨時開所を行ったほか、スケート場における大会開催時には、早朝に開場するなど、利用者サービスの向上に努めた。
- ・ 利用者の急な要望にも、柔軟かつ臨機応変に対応して、高い評価を頂いた。
- ・ 毎日の巡回点検等の実施により利用者の安全を確保することができた。また、施設内の清掃を職員が細かいところまで行い、利用者から高い評価（清潔、きれい）をいただいた。
- ・ 花壇等に季節の花を植え、こまめに雑草処理や芝刈りを行うなど、利用団体が気持ちよく過ごせる環境を提供した。
- ・ 利用者向けに、季節や行事に合わせたインスタボードを作成し、多くの方に楽しんで利用いただいた。

② 現在、苦慮している事項、今後、改善・工夫したい事項、積極的に取り組みたい事項

- ・ 施設・設備全般の老朽化への対応。スケート場冷凍機の故障のように開所から 40 年が経過して思わぬ破損等が頻発している。自前工事等も行い何とか営業しているが、沢水を利用した飲料水などは、開所以来水道管の交換は行われていないため、塩ビ管本体や接着部の劣化、または木の根等による配管の歪みなども想定され、水道が止まることも想像に難くない。
- ・ 携帯電話、スマートフォンの通信環境について、施設の利用者から毎年のように改善要望が出ている。
- ・ 児童生徒の減少や一団体当たりの人数の減少傾向、また宿泊利用から日帰り利用にシフトする件数の増加など、今後、利用者数が大きく減少する可能性が非常に高いことから、引き続き利用者のニーズを捉えて事業を実施していきたい。
- ・ 毎年度利用している団体の継続利用促進に加え、児童クラブや高齢者団体、企業体等のうち未利用団体をターゲットにした利用促進活動を実施していきたい。また、ホームページやフェイスブックをはじめとした SNS での発信情報のあり方の検討や、企業・大学スポーツ団体などへの企画提案も視野に入れ、多様な方面で利用者の発掘を目指したい。

③ 県に対する要望、意見等

- ・ 開所から 40 年が経過し、水道（給排水）設備、ボイラー設備、電気設備、自動ドア設備、食堂設備、施設内外装などの施設・設備の老朽化に対応する計画的な改修等工事の実施をお願いしたい。
- ・ 携帯電話やスマートフォンの通信環境の改善に向けて、県の支援をお願いしたい。
- ・ 近隣の小中学校の教室へもエアコンの設置がほぼ 100%と進んでおり、利用者からエアコンの要望が多くあることから研修棟へのエアコンの設置をお願いしたい。
- ・ これからも県北青少年の家の特長（プラネタリウムとスケート場）を十分に活かしながら、使命を果たす必要があると考えており、スケート場を使用した大規模な大会誘致とともに、天文現象のトピック学習等にも効果のあるプラネタリウムの更新を行うようお願いしたい。

(2) 県による評価等

① 指定管理者の運営状況について

施設の特徴を生かした事業の充実や、施設の臨時開所・スケート場の早朝開場等、利用者のニーズに合わせた対応や利用促進につなげる取組みを行った。施設の環境整備への対応も丁寧にかつ適切に行われている。

② 県の対応状況について（自己評価）

毎月の定期報告により施設の管理状況・利用状況を把握するとともに、施設・設備の老朽化が進んでいることから、指定管理者及び教育企画室施設整備管財担当との連携により、要修繕箇所を把握し優先順位を整理して施設改修・修繕を実施した。

③ 次期指定管理者選定時における検討課題等

管理料積算にあたり、人件費や物価の変動等を適切に反映するよう検討する。

9 改善状況等

改善を要すると評価された項目（C、D評価の項目について）

改善状況

(指定管理者から県への報告年月日：令和 年 月 日)

改善状況の確認

(確認年月日 令和 年 月 日)